

公共建築工事標準仕様書・
公共建築改修工事標準仕様書
DP 仕様対応

JIS K 5659 認証取得

鋼構造物用耐候性塗料 クリーンマイルド[®]ST シリーズ

弱溶剤形

上塗り

クリーンマイルドフッソST〔1級〕

クリーンマイルドシリコンST〔2級〕

クリーンマイルドウレタンST〔3級〕

中塗り

クリーンマイルド中塗材ST

JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料

A種 上塗り塗料 1級 認証取得製品(クリーンマイルドフッソ ST[艶有り])

A種 上塗り塗料 2級 認証取得製品(クリーンマイルドシリコン ST[艶有り])

A種 上塗り塗料 3級 認証取得製品(クリーンマイルドウレタン ST[艶有り])

A種 中塗り塗料 認証取得製品(クリーンマイルド中塗材 ST)

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

はじめに

「クリーンマイルドSTシリーズ」は、JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料の認証を取得した製品です。上塗り塗料には、1級:クリーンマイルドフッソST、2級:クリーンマイルドシリコンST、3級:クリーンマイルドウレタンSTをラインアップしており、要求に応じて使い分けることが可能です。

公共建築工事標準仕様書(建築工事編、18章塗装工事)と、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編、7章塗装改修工事)の鉄鋼面、亜鉛めっき面の耐候性塗料塗り(DP)に該当する製品で、優れた耐候性を発揮します。

クリーンマイルドSTシリーズ製品は、独自のセラミック複合技術により、超低汚染性を実現した製品であり、長期に亘り美しい仕上げを維持することができます。

特長

超耐久性 架橋塗膜は、紫外線、湿気など、ポリマー劣化要因に対して優れた抵抗を示し、長期に亘り対象物を保護します。

超低汚染性 セラミック複合の特殊技術によるトリプル効果(低帯電性・高い架橋密度・親水性)で、超低汚染性能を発揮します。

防かび・防藻性 特殊設計により、長期に亘ってかびや藻類などの微生物汚染を防ぎ、衛生的な環境を維持します。

資産価値の向上 汎用のアクリル樹脂系やポリウレタン樹脂系の塗料に比べて耐久性が高いため、ライフサイクルコストの低減と資産価値の向上につながります。

適用下地 鉄、亜鉛めっき等

用途 鋼構造物(新築、改修)、一般建築物の鉄部

クリーンマイルドSTシリーズの製品構成

一般名称	製品名	艶の種類	JIS K 5659の 耐候性による等級	荷 姿	標準塗坪	可使時間 (23℃)
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	★クリーンマイルドフッソST	艶有り	1級	主 剤：13.5kg石油缶／3.6kg缶 硬化剤：1.5kg石油缶／0.4kg缶	107～125㎡／15kgセット 28～33㎡／4kgセット	5時間
		5分艶・3分艶	—			
弱溶剤形アクリルシリコン樹脂塗料	★クリーンマイルドシリコンST	艶有り	2級	主 剤：13.5kg石油缶／3.6kg缶 硬化剤：1.5kg石油缶／0.4kg缶	107～125㎡／15kgセット 28～33㎡／4kgセット	5時間
		5分艶・3分艶	—			
弱溶剤形ウレタン樹脂塗料	★クリーンマイルドウレタンST	艶有り	3級	主 剤：13.5kg石油缶／3.6kg缶 硬化剤：1.5kg石油缶／0.4kg缶	107～125㎡／15kgセット 28～33㎡／4kgセット	5時間
		5分艶・3分艶	—			
鋼構造物用耐候性中塗材塗料	★クリーンマイルド中塗材ST	—	—	主 剤：13.5kg石油缶／3.6kg缶 硬化剤：1.5kg石油缶／0.4kg缶	88～107㎡／15kgセット 23～28㎡／4kgセット	5時間

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

※JIS表示製品は艶有りのみです。5分艶、3分艶についてはJIS表示していません。

※「クリーンマイルド」は、エスケー化研(株)の登録商標です。

その他製品

製品名	荷 姿	標準塗坪	可使時間 (23℃)
★SK#8000プライマー	主 剤：2.4kg缶 硬化剤：0.6kg缶 亜鉛末：12kg缶	65～75㎡／15kgセット	5時間
★ミラクボーセイM	主 剤：14.4kg石油缶／3.2kg缶 硬化剤：3.6kg缶／0.8kg缶	105～128㎡／18kgセット、23～28㎡／4kgセット	5時間
★SKマイルドボーセイ	主 剤：12.8kg石油缶／3.2kg缶 硬化剤：3.2kg缶／0.8kg缶	94～114㎡／16kgセット、23～28㎡／4kgセット	5時間
★スーパーボーセイエボ	主 剤：14.4kg石油缶／3.6kg缶 硬化剤：1.6kg缶／0.4kg缶	94～114㎡／16kgセット、23～28㎡／4kgセット	5時間
★SK#8000プライマーシンナー	16ℓ石油缶	—	—
★EHシンナー	16ℓ石油缶	—	—
★塗料用シンナーA	16ℓ石油缶	—	—

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

【危険情報と安全対策】

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。

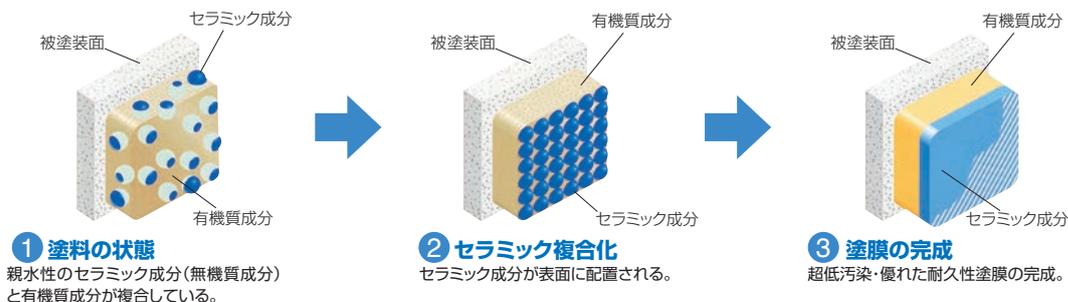
1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。
詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

独自のセラミック複合技術



トリプル効果で超低汚染性をいかに発揮



6ヶ月暴露後の表面状態(雨筋汚染試験)

クリーンマイルドSTシリーズは塗装初期と変わらない表面状態を維持しています。



クリーンマイルドSTシリーズ 汎用塗料

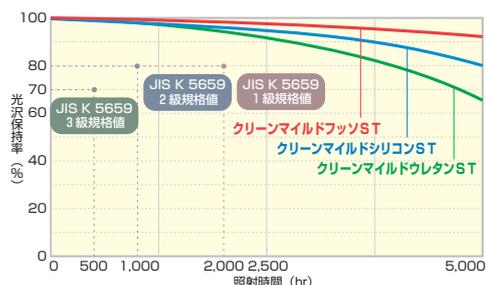
性能試験成績表

JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料による物性試験

項目	結果				品質			
	A種 上塗り塗料			A種 中塗り塗料				
	1級	2級	3級	クリーンマイルド中塗材ST				
容器の中の状態	合格	合格	合格	合格	かくはん(攪拌)したとき、堅い塊がなく一様になる。			
表面乾燥性	合格	合格	合格	合格	表面乾燥する。			
塗膜の外観	合格	合格	合格	合格	正常である。			
ポットライフ	合格	合格	合格	合格	5時間			
隠蔽率 %	96	96	95	95	白・淡彩色 ≥ 90 鮮明な赤及び黄色 ≥ 50 その他の色 ≥ 80			
鏡面光沢度 (60度)	82	87	83	- ※	≥ 70			
上塗り適合性	- ※	- ※	- ※	合格	支障がない。			
耐屈曲性	合格	合格	合格	合格	折曲げに耐える。			
耐おもり落下性	合格	合格	合格	合格	塗膜に割れ及び剥がれが生じない。			
層間付着性	I	- ※	- ※	合格	異常がない。			
	II	合格	合格	合格				
耐アルカリ性	合格	合格	合格	合格	飽和水酸化カルシウム溶液に168時間浸せきしたとき塗膜に膨れ・割れ・剥がれ・穴を認めず、色の変化の程度が原状試験片と比べ大きくないときは、“異常がない。”とする。			
耐酸性	合格	合格	合格	合格	5g/L硫酸水溶液に168時間浸せきしたとき塗膜に膨れ・割れ・剥がれ・穴を認めず、原状試験片と比べ色の変化の程度が大きくないときは、“異常がない。”とする。			
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	合格	合格	合格	塗膜に膨れ・割れ・剥がれを認めず、光沢保持率が80%以上あるときは、“湿潤冷熱繰返しに耐える。”とする。			
加熱残分 %	合格	合格	合格	- ※	白・淡彩色 ≥ 50 その他の色 ≥ 40			
	- ※	- ※	- ※	合格		白・淡彩色 ≥ 60 その他の色 ≥ 50		
促進耐候性	2,000hr 1級合格	1,000hr 2級合格	500hr 3級合格	- ※	照射時間	1級 2000	2級 1000	3級 500
					塗膜の外観	塗膜に割れ、剥がれ及び膨れがない		
					色の変化	大きくない		
					白亜化の等級	1又は0		
屋外暴露耐候性	1級 合格	2級 合格	3級 合格	- ※	光沢保持率 %	1級 ≥ 80	2級 ≥ 80	3級 ≥ 70
					塗膜の外観	塗膜に割れ、膨れ及び剥がれがない		
					色の変化	大きくない		
					白亜化の等級	1級 1又は0	2級 2、1 又は0	3級 3、2、 1又は0
光沢保持率 %	1級 ≥ 60	2級 ≥ 40	3級 ≥ 30					

※ 「試験規定がないこと」を示す。
注) 試験結果はいずれも艶有りのものです。

促進耐候性試験(キセノンランプ)



標準施工仕様 (公共建築工事標準仕様書 鉄鋼面耐候性塗料塗り)

新築

鉄鋼面

●素地ごしらえ

工程	種別	種別			面の処置	備考
		A種 ^(注)	B種 ^(注)	C種		
1	汚れ、付着物除去	○	—	○	スクレーパー、ワイヤブラシ等で除去	—
2	油類除去	○	—	—	アルカリ性脱脂剤で加熱処理後、湯又は水洗い	—
		—	○	○	溶剤ぶき	
3	錆落とし	○	—	—	酸漬け、中和及び湯洗いににより除去	直ちに次の工程に移る。
		—	○	—	プラスト法により除去	
		—	—	○	ディスクサンダー、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨紙P120～220等で除去	
4	化成皮膜処理	○	—	—	りん酸塩処理後、湯洗い乾燥	

(注) A種及びB種は、製作工場で行うものとする。

塗装仕様／共通工程

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			
					工程内	工程間	最終養生	
1	素地ごしらえ	素地ごしらえの表によるB種						
2	下塗り (1回目)	SK#8000プライマー 主剤	100 (16)	0.14	1	—	24以上 6ヶ月以内	—
		SK#8000プライマー 硬化剤	25 (4)					
		SK#8000プライマー 亜鉛末	500 (80)	—				
		SK#8000プライマーシンナー	100~150 (16~24)					
3	下塗り (2回目)	ミラクポーセイM 主剤	100	0.14	1	—	24以上 7日以内	—
		ミラクポーセイM 硬化剤	25					
		EHシンナー	0~30	—				
4	下塗り (3回目)	ミラクポーセイM 主剤	100	0.14	1	—	24以上 7日以内	—
		ミラクポーセイM 硬化剤	25					
		EHシンナー	0~30	—				
5	研磨紙すり	乾燥後、研磨紙 P120～P220 で表面を平らに研磨する。						
6	中塗り	クリーンマイルド中塗材 ST 主剤	100	0.14	1	—	24以上 7日以内	—
		クリーンマイルド中塗材 ST 硬化剤	11.1					
		塗料用シンナー A	0~20	—				

塗装仕様／クリーンマイルドウレタン ST 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			
					工程内	工程間	最終養生	
7	上塗り	クリーンマイルドウレタン ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72以上
		クリーンマイルドウレタン ST 硬化剤	11.1					
		塗料用シンナー A	0~20					

※上塗りが5分艶の場合には「クリーンマイルドウレタンST5分艶 主剤/クリーンマイルドウレタンST5分艶 硬化剤」を、また3分艶の場合には「クリーンマイルドウレタンST3分艶 主剤/クリーンマイルドウレタンST3分艶 硬化剤」をご使用ください。

塗装仕様／クリーンマイルドシリコン ST 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			
					工程内	工程間	最終養生	
7	上塗り	クリーンマイルドシリコン ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72以上
		クリーンマイルドシリコン ST 硬化剤	11.1					
		塗料用シンナー A	0~20					

※上塗りが5分艶の場合には「クリーンマイルドシリコンST5分艶 主剤/クリーンマイルドシリコンST5分艶 硬化剤」を、また3分艶の場合には「クリーンマイルドシリコンST3分艶 主剤/クリーンマイルドシリコンST3分艶 硬化剤」をご使用ください。

塗装仕様／クリーンマイルドフッソ ST 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			
					工程内	工程間	最終養生	
7	上塗り	クリーンマイルドフッソ ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72以上
		クリーンマイルドフッソ ST 硬化剤	11.1					
		塗料用シンナー A	0~20					

※上塗りが5分艶の場合には「クリーンマイルドフッソST5分艶 主剤/クリーンマイルドフッソST5分艶 硬化剤」を、また3分艶の場合には「クリーンマイルドフッソST3分艶 主剤/クリーンマイルドフッソST3分艶 硬化剤」をご使用ください。

●★SK#8000プライマーは、JIS K 5552 2種のJIS表示製品です。

●★ミラクポーセイMは、JIS K 5551 A種のJIS表示製品です。

●★SK#8000プライマーの★SK#8000プライマーシンナーでの希釈率は主剤100に対して、刷毛・ローラー塗り時で「100～125」、スプレー塗り時で「125～150」となります。(主剤・硬化剤・亜鉛末の混合物に対して刷毛・ローラー塗り時で「16～20」、スプレー塗り時で「20～24」となります。)

●★SK#8000プライマーは主剤に硬化剤を規定量加え、攪拌しながら亜鉛末を少量ずつ加え、均一になるまで十分に攪拌してください。調合後、80～100メッシュのふるいでろ過してからご使用ください。なお、攪拌は、電動ミキサーなどで行い、使用中も攪拌を続けてください。

●上記塗付量は公共建築工事標準仕様書に掲載されている数値です。そのため、実際に使用する所要量は被塗物の形状や塗装方法によって変わります。

●所要量の目安は、下塗り★ミラクポーセイMで0.14～0.17kg/m²、中塗り★クリーンマイルド中塗材STで0.14～0.17kg/m²、上塗り★クリーンマイルドウレタンST・★クリーンマイルドシリコンST・★クリーンマイルドフッソSTで各々0.12～0.14kg/m²となります。

※間隔時間は、建築工事監理指針に基づく数値です。

標準施工仕様 (公共建築工事標準仕様書 亜鉛めっき面耐候性塗料塗り)

新築

亜鉛めっき面

●素地ごしらえ

工程	種別		塗料その他	面の処置	備考	
	(注)1 A種	(注)2 B種				
1	汚れ、付着物除去	○	○	—	スクレーパー、ワイヤブラシ等で除去	—
2	油類除去	○	—	—	弱アルカリ性脱脂剤で加熱処理後、湯又は水洗い	—
		—	○	—	溶剤ぶき	—
3	化成皮膜処理	○	—	—	りん酸塩処理後、水洗い乾燥又はクロメートフリー処理後、乾燥	—

(注) 1. A種は製作工場で行うものとする。

塗装仕様 / 共通工程

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
1	素地ごしらえの表による A 種 ただし、鋼製建具等は B 種						
2	スーパーボーセイエポ 主剤	100	0.14	1	—	24 以上 7 日以内	—
	スーパーボーセイエポ 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー A	0 ~ 10					
3	乾燥後、研磨紙 P120 ~ P220 で表面を平らに研磨する。						
4	クリーンマイルド中塗材 ST 主剤	100	0.14	1	—	24 以上 7 日以内	—
	クリーンマイルド中塗材 ST 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー A	0 ~ 20					

塗装仕様 / クリーンマイルドウレタン ST 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
5	クリーンマイルドウレタン ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72 以上
	クリーンマイルドウレタン ST 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー A	0 ~ 20					

※上塗りが 5 分艶の場合には「クリーンマイルドウレタン ST 5 分艶 主剤 / クリーンマイルドウレタン ST 5 分艶 硬化剤」を、また 3 分艶の場合には「クリーンマイルドウレタン ST 3 分艶 主剤 / クリーンマイルドウレタン ST 3 分艶 硬化剤」をご使用ください。

塗装仕様 / クリーンマイルドシリコン ST 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
5	クリーンマイルドシリコン ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72 以上
	クリーンマイルドシリコン ST 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー A	0 ~ 20					

※上塗りが 5 分艶の場合には「クリーンマイルドシリコン ST 5 分艶 主剤 / クリーンマイルドシリコン ST 5 分艶 硬化剤」を、また 3 分艶の場合には「クリーンマイルドシリコン ST 3 分艶 主剤 / クリーンマイルドシリコン ST 3 分艶 硬化剤」をご使用ください。

塗装仕様 / クリーンマイルドフッソ ST 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
5	クリーンマイルドフッソ ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72 以上
	クリーンマイルドフッソ ST 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー A	0 ~ 20					

※上塗りが 5 分艶の場合には「クリーンマイルドフッソ ST 5 分艶 主剤 / クリーンマイルドフッソ ST 5 分艶 硬化剤」を、また 3 分艶の場合には「クリーンマイルドフッソ ST 3 分艶 主剤 / クリーンマイルドフッソ ST 3 分艶 硬化剤」をご使用ください。

- 下塗りには★ミラクボーセイM、★SKマイルドボーセイもご使用いただけます。
- ★ミラクボーセイMは、JIS K 5551 A種のJIS表示製品です。
- ★スーパーボーセイエポは、JIS K 5551 C種 (1号・2号) のJIS表示製品です。
- ★ミラクボーセイM、★スーパーボーセイエポ、★SKマイルドボーセイは、JASS 18 M-109の規格相当品です。
- 上記塗付け量は公共建築工事標準仕様書に掲載されている数値です。そのため、実際に使用する所要量は被塗物の形状や塗装方法によって変わります。
- 所要量の目安は、下塗り★スーパーボーセイエポで0.14~0.17kg/m²、中塗り★クリーンマイルド中塗材STで0.14~0.17kg/m²、上塗り★クリーンマイルドウレタンST・★クリーンマイルドシリコンST・★クリーンマイルドフッソSTで各々0.12~0.14kg/m²となります。

※間隔時間は、建築工事監理指針に基づく数値です。

標準施工仕様 (公共建築改修工事標準仕様書 鉄鋼面耐候性塗料塗り)

改修

鉄鋼面

●下地調整

工程	種別			塗料その他	面の処置
	RA種	RB種	RC種		
1 既存塗膜の除去	○	—	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜、錆等を全面除去する。
	—	○	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化した弱い部分、錆等を除去し、活膜は残す。
2 汚れ、付着物除去	○	○	○	—	素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3 油類除去	○	○	—	—	既存塗膜を除去した範囲を溶剤ふき。
4 研磨紙すり	○	○	—	研磨紙 P120 ~ P220	全面を平らに研磨し、研磨かす等を除去する。
	—	—	○	研磨紙 P240 ~ P320	

塗装仕様 / 共通工程

(23℃)

工程	種別			材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)					
	A種	B種	C種					工程内	工程間	最終養生			
1 下地調整	○	—	—	下地調整の表による RA 種	—	—	—	—	—	—			
	—	○	—	下地調整の表による RB 種	—	—	—	—	—	—			
	—	—	○	下地調整の表による RC 種	—	—	—	—	—	—			
2 錆止め塗料塗り (下塗り1回目)	○	—	—	SK#8000 プライマー 主剤	100 (16)	0.14	1	—	24 以上 6ヶ月以内	—			
				SK#8000 プライマー 硬化剤	25 (4)								
	—	○	○	SK#8000 プライマー 亜鉛末	500 (80)	0.14	1	—	24 以上 7日以内	—			
				SK#8000 プライマーシンナー	100 (16)								
3 錆止め塗料塗り (下塗り2回目)	○	—	—	スーパーポーセイエボ 主剤	100	0.14	1	—	24 以上 7日以内	—			
				スーパーポーセイエボ 硬化剤	11.1								
	—	○	—	塗料用シンナー A	0~10	0.14	1	—	24 以上 7日以内	—			
				ミラクポーセイ M 主剤	100								
4 錆止め塗料塗り (下塗り3回目)	○	—	—	ミラクポーセイ M 硬化剤	25	0.14	1	—	24 以上 7日以内	—			
				EH シンナー	0~30								
	—	○	—	スーパーポーセイエボ 主剤	100	0.14	1	—	24 以上 7日以内	—			
				スーパーポーセイエボ 硬化剤	11.1								
5 研磨紙すり	○	○	○	乾燥後、研磨紙 P120 ~ P220 で表面を平らに研磨する。	—	—	—	—	—	—			
				○	○	○	クリーンマイルド中塗材 ST 主剤	100	0.14	1	—	24 以上 7日以内	—
							クリーンマイルド中塗材 ST 硬化剤	11.1					
6 中塗り	○	○	○	塗料用シンナー A	0~20	—	—	—	—	—			

塗装仕様 / クリーンマイルドウレタン ST 仕上げ

(23℃)

工程	種別			材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
	A種	B種	C種					工程内	工程間	最終養生
7 上塗り	○	○	○	クリーンマイルドウレタン ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72 以上
				クリーンマイルドウレタン ST 硬化剤	11.1					
				塗料用シンナー A	0~20					

※上塗りが5分艶の場合には「クリーンマイルドウレタンST5分艶 主剤/クリーンマイルドウレタンST5分艶 硬化剤」を、また3分艶の場合には「クリーンマイルドウレタンST3分艶 主剤/クリーンマイルドウレタンST3分艶 硬化剤」をご使用ください。

塗装仕様 / クリーンマイルドシリコン ST 仕上げ

(23℃)

工程	種別			材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
	A種	B種	C種					工程内	工程間	最終養生
7 上塗り	○	○	○	クリーンマイルドシリコン ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72 以上
				クリーンマイルドシリコン ST 硬化剤	11.1					
				塗料用シンナー A	0~20					

※上塗りが5分艶の場合には「クリーンマイルドシリコンST5分艶 主剤/クリーンマイルドシリコンST5分艶 硬化剤」を、また3分艶の場合には「クリーンマイルドシリコンST3分艶 主剤/クリーンマイルドシリコンST3分艶 硬化剤」をご使用ください。

塗装仕様 / クリーンマイルドフッソ ST 仕上げ

(23℃)

工程	種別			材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
	A種	B種	C種					工程内	工程間	最終養生
7 上塗り	○	○	○	クリーンマイルドフッソ ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72 以上
				クリーンマイルドフッソ ST 硬化剤	11.1					
				塗料用シンナー A	0~20					

※上塗りが5分艶の場合には「クリーンマイルドフッソST5分艶 主剤/クリーンマイルドフッソST5分艶 硬化剤」を、また3分艶の場合には「クリーンマイルドフッソST3分艶 主剤/クリーンマイルドフッソST3分艶 硬化剤」をご使用ください。

●★SK#8000プライマーは、JIS K 5552 2種のJIS表示製品です。

●★ミラクポーセイMは、JIS K 5551 A種のJIS表示製品です。

●★スーパーポーセイエボは、JIS K 5551 C種 (1号・2号) のJIS表示製品です。

●★スーパーポーセイエボの代わりに、★ミラクポーセイM、★SKマイルドポーセイもご使用いただけます。

●★ミラクポーセイM、★スーパーポーセイエボ、★SKマイルドポーセイは、JASS 18 M-109の規格相当品です。

●★SK#8000プライマーの★SK#8000プライマーシンナーでの希釈率は主剤100に対して、刷毛・ローラー塗り時で「100~125」、スプレー塗り時で「125~150」となります。(主剤・硬化剤・亜鉛末の混合物に対して刷毛・ローラー塗り時で「16~20」、スプレー塗り時で「20~24」となります。)

●★SK#8000プライマーは主剤に硬化剤を規定量加え、攪拌しながら亜鉛末を少量ずつ加え、均一になるまで十分に攪拌してください。調合後、80~100メッシュのふるいでろ過してからご使用ください。なお、攪拌は、電動ミキサーなどで行い、使用中も攪拌を続けてください。

●上記塗付け量は公共建築改修工事標準仕様書に掲載されている数値です。そのため、実際に使用する所要量は被塗物の形状や塗装方法によって変わります。

●所要量の目安は、下塗り★スーパーポーセイエボ・★ミラクポーセイMで各々0.14~0.17kg/m²、中塗り★クリーンマイルド中塗材STで0.14~0.17kg/m²、上塗り★クリーンマイルドウレタンST・★クリーンマイルドシリコンST・★クリーンマイルドフッソSTで各々0.12~0.14kg/m²となります。

※間隔時間は、建築改修工事監理指針に基づく数値です。

標準施工仕様 (公共建築改修工事標準仕様書 亜鉛めっき面耐候性塗料塗り)

改修

亜鉛めっき面

●下地調整

工程	種別	種別			塗料その他	面の処置
		RA種	RB種	RC種		
1	既存塗膜の除去	○	—	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜、錆等を全面除去する。
		—	○	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化したぜい弱な部分、錆等を除去し、活膜は残す。
2	汚れ、付着物除去	○	○	○	—	素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3	油類除去	○	○	—	—	溶剤ぶき
4	研磨紙すり	○	○	○	研磨紙 P240～P320	全面を平らに研磨し、研磨かす等を除去する。

(注) 1. 無塗装既存亜鉛めっき鋼面に塗装を行う場合は、RA種とし、工程1を省略する。

塗装仕様 / 共通工程

(23℃)

工程	種別	種別			材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
		A種	B種	C種					工程内	工程間	最終養生
1	下地調整	○	—	—	下地調整の表による RA 種						
		—	○	—	下地調整の表による RB 種						
		—	—	○	下地調整の表による RC 種						
2	錆止め塗料塗り	○	○	○	スーパーポーセイエボ 主剤	100	0.14	1	—	24 以上 7 日以内	—
					スーパーポーセイエボ 硬化剤	11.1					
					塗料用シンナー A	0～10	—				
3	研磨紙すり	○	○	○	乾燥後、研磨紙 P120～P220 で表面を平らに研磨する。						
4	中塗り	○	○	○	クリーンマイルド中塗材 ST 主剤	100	0.14	1	—	24 以上 7 日以内	—
					クリーンマイルド中塗材 ST 硬化剤	11.1					
					塗料用シンナー A	0～20	—				

塗装仕様 / クリーンマイルドウレタン ST 仕上げ

(23℃)

工程	種別	種別			材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
		A種	B種	C種					工程内	工程間	最終養生
5	上塗り	○	○	○	クリーンマイルドウレタン ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72 以上
					クリーンマイルドウレタン ST 硬化剤	11.1					
					塗料用シンナー A	0～20	—				

※上塗りが5分艶の場合には「クリーンマイルドウレタンST5分艶 主剤/クリーンマイルドウレタンST5分艶 硬化剤」を、また3分艶の場合には「クリーンマイルドウレタンST3分艶 主剤/クリーンマイルドウレタンST3分艶 硬化剤」をご使用ください。

塗装仕様 / クリーンマイルドシリコン ST 仕上げ

(23℃)

工程	種別	種別			材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
		A種	B種	C種					工程内	工程間	最終養生
5	上塗り	○	○	○	クリーンマイルドシリコン ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72 以上
					クリーンマイルドシリコン ST 硬化剤	11.1					
					塗料用シンナー A	0～20	—				

※上塗りが5分艶の場合には「クリーンマイルドシリコンST5分艶 主剤/クリーンマイルドシリコンST5分艶 硬化剤」を、また3分艶の場合には「クリーンマイルドシリコンST3分艶 主剤/クリーンマイルドシリコンST3分艶 硬化剤」をご使用ください。

塗装仕様 / クリーンマイルドフッソ ST 仕上げ

(23℃)

工程	種別	種別			材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
		A種	B種	C種					工程内	工程間	最終養生
5	上塗り	○	○	○	クリーンマイルドフッソ ST 主剤	100	0.10	1	—	—	72 以上
					クリーンマイルドフッソ ST 硬化剤	11.1					
					塗料用シンナー A	0～20	—				

※上塗りが5分艶の場合には「クリーンマイルドフッソST5分艶 主剤/クリーンマイルドフッソST5分艶 硬化剤」を、また3分艶の場合には「クリーンマイルドフッソST3分艶 主剤/クリーンマイルドフッソST3分艶 硬化剤」をご使用ください。

- 下塗りには★ミラクポーセイM、★SKマイルドポーセイもご使用いただけます。
- ★ミラクポーセイMは、JIS K 5551 A種のJIS表示製品です。
- ★スーパーポーセイエボは、JIS K 5551 C種 (1号・2号) のJIS表示製品です。
- ★ミラクポーセイM、★スーパーポーセイエボ、★SKマイルドポーセイは、JASS 18 M-109の規格相当品です。
- 上記塗付け量は公共建築改修工事標準仕様書に掲載されている数値です。そのため、実際に使用する所要量は被塗物の形状や塗装方法によって変わります。
- 所要量の目安は、下塗り★スーパーポーセイエボで0.14～0.17kg/m²、中塗り★クリーンマイルド中塗材STで0.14～0.17kg/m²、上塗り★クリーンマイルドウレタンST・★クリーンマイルドシリコンST・★クリーンマイルドフッソSTで各々0.12～0.14kg/m²となります。
- ※間隔時間は、建築改修工事監理指針に基づく数値です。

施工器具別の希釈量と塗付け量

材 料	SK#8000 プライマー		ミラクポーセイ M		SK マイルドポーセイ		スーパーポーセイエボ		クリーンマイルド中塗材 ST	
塗装方法	刷毛・ローラー	エアレス	刷毛・ローラー	エアレス	刷毛・ローラー	エアレス	刷毛・ローラー	エアレス	刷毛・ローラー	エアレス
希釈量*	100～125	125～150	0～20	10～30	0～10	5～10	0～10	5～10	0～10	10～20
塗付け量 (kg/m ²)	0.14		0.14		0.14		0.14		0.14	
平均乾燥膜厚 (μm)	20		35		35		40		30	

材 料	クリーンマイルドウレタン ST		クリーンマイルドシリコン ST		クリーンマイルドフッソ ST	
塗装方法	刷毛・ローラー	エアレス	刷毛・ローラー	エアレス	刷毛・ローラー	エアレス
希釈量*	0～10	10～20	0～10	10～20	0～10	10～20
塗付け量 (kg/m ²)	0.10		0.10		0.10	
平均乾燥膜厚 (μm)	25		25		25	

* 主剤100に対するシンナー重量比

【施工上の注意事項】

- 素地調整・下地調整はさび止め塗装工事の耐久性を高める重要な工程となりますので、入念な処理を行ってください。
- 錆止め塗料の防食性は膜厚に比例します。R部やエッジ部など、膜厚が得られにくい場所は、増し塗りするなどして、十分な膜厚を確保してください。
- 中塗材が塗装されていないと、剥離や性能不良の原因となりますので、中塗材の塗り残しがないように塗装してください。
- 上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- 使用した塗装器具は★ラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- 濃彩色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでそのような部位への塗装はなるべく避けてください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色(中塗材)を塗装してください。
- 異なる色目で塗り重ねる場合、2回目の上塗りが1回目の上塗りを溶かし、ラインや帯がにじむ場合がありますのでご注意ください。
- 艶調整品(艶有り以外の5分艶、3分艶など)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所等で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 旧塗膜の状態や種類によって、付着力が得られなかったり、溶解することがあります。事前に試験塗りをを行い、付着力や溶解性の確認を行ってください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 改装工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がりの肌違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりを確認した上で希釈量等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りとは仕上がりの肌違いにより、色目に若干の差を生じる場合があります。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所までお問い合わせください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ゴムやプラスチック等、可塑性を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けてください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ベンチやジャングルジムなどの遊具への塗装は避けてください。また、アルコールや油脂(人の手など)が付着すると塗膜が軟化し、色移りすることがありますので、ご注意ください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- 公共建築工事標準仕様[新築・改修]の詳細につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

施工上の注意：超低汚染機能の発揮条件

- ★クリーンマイルドSTシリーズは、主剤と硬化剤を指定の比率で調合し、電動ミキサーなどで十分に攪拌混合(2分以上)してご使用ください。主剤と硬化剤の混合比率が不適切であったり、他の材料と混合したり、硬化剤を投入しなかった場合、低汚染機能が発揮されませんので、必ずこれを厳守してください。また材料調合後は、缶に表示されている可使用時間内に使い切るようにしてください。なお、塗料の温度は保管場所により大きく影響を受けますので、ご注意ください。
- 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が硬化するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は硬化後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨がつかからないよう、対策を講じてください。
- 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下端部、笠木などの水切のない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がつかからない部位などは注意が必要です。
- 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材は可塑剤(油分)を含まないノンブリードシーリングをご使用ください。
- 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。また、タッチアップに使用する上塗材の主剤、硬化剤は予め良く振り、沈降分離していないものを必ず計量器を用いて計量し、電動ミキサーなどで十分に攪拌(2分以上)したものを使用し、製品容器に記載の可使用時間以内に使い切るようにしてください。
- その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

